

(高知県南国市)の課題

別紙2

<p>(地方公共団体名)の概要・特徴等</p>	<p>高知県の中央部に位置し、高知県の空の玄関、高知龍馬空港をはじめとする陸海空の交通の要衝です。律令時代には国府が置かれ、戦国武将の長宗我部元親が居城を構えるなど土佐の政治経済の中心地として栄えていました。製造業が盛んで、大学や高専といった高等教育機関も立地、伝統産業と最先端技術の融合も期待されるものづくりサポートセンターが令和3年3月オープン予定です。 (人口)46,982人(世帯数)22,295世帯(2020年9月30日現在)(面積)125.3km²</p>
<p>解決したい地域課題</p>	<p>【行政分野】デジタル・ガバメントの推進 ①データドリブン型の効率的な行政運営とそれを可能にする人材の育成②行政手続きのオンライン化③スマートシティの実現 【医療・介護・健康分野】健康寿命の延伸 ①データの収集と分析②住民の通いの場の活性化 デジタル庁の新設など、自治体DXの流れは加速しています。しかしながら地方の小規模自治体においてはDX推進に必要な経験と知識を有する人材の不足と財政的な制約があります。効果的な施策の推進には部署横断的な各種データの分析によるEBPMも欠かせません。 そこで民間等と連携し、各種情報通信技術(ICT)を活用して自治体DX、EBPMに取り組むことで、市民がSociety5.0を実感できるスマートシティの実現を目指します。</p>
<p>ソリューション提案に対するアピールポイント</p>	<p>本市では、「貯筋運動」や「わかガエる体操」など市民の自主的な活動が市内各地で行われています。民間等との連携や庁内調整に必要な体制は整っており、関係団体との調整も可能です。また、「官民データ利活用推進計画」も策定中です。</p>